

# 研究協力をお願い

昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

骨粗鬆症外来患者における形態骨折の有無と身体機能の関係

## 1. 研究の対象および研究対象期間

対象は、昭和大学病院附属東病院で骨粗鬆症外来に通院する患者さんです。

対象期間は2021年4月～2026年12月の間に通院された患者さんです。

## 2. 研究目的・方法

### 【目的】

骨粗鬆症があると、骨折するリスクが高くなるとされています。高齢者が骨折してしまうと、寝たきりの原因ともなります。また、骨折には痛みなどをともなわない形態骨折というものがあります。そこで、今回は骨粗鬆症外来に通院する患者さんのなかで、形態骨折を有する患者さんと有さない患者さんの身体機能の比較検討を行い、形態骨折を有する患者さんの身体機能の特徴を明らかにすることを目的とします。それが明らかとなることで形態骨折を有する患者さんの骨折再受傷を予防することが可能となると考えられます。

### 【対象および方法】

対象は骨粗鬆症外来に通院する患者さんとしします。レントゲン画像から、形態骨折の有無を調査します。また、理学療法士による身体機能評価の結果と形態骨折の関連について統計学的に検討します。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日以降

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景(性別、身長、体重、診断名、既往歴、現病歴)、身体機能(ロコモ度テストのうち、立ち上がりテスト・2ステップテスト、握力、歩行速度、Timed Up & Go Test (TUG)、片脚立位時間、静止立位時足圧分布、静止立位時重心動揺総軌跡長、静止座位時座圧)、単純X線画像を調査項目とします。

**5 . 外部への試料・情報の提供**

該当いたしません。

**6 . 研究組織**

研究責任者 昭和大学保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 前田 卓哉

**7 . お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

氏名：前田 卓哉 職名：理学療法士・講師

住所：〒142-8666 東京都品川区西中延 2-14-19 (昭和大学病院附属東病院)

電話番号：03-3784-8989 E-mail：maeda.t@cmed.showa-u.ac.jp